

藤田徳太郎 とくだう 國文學者。明治二十四年十一月一日山口縣下關生れ、昭和二十年六月二十九日没（二九〇一〇一）。第五高等學校を卒業し、大正十四年東京帝國大學文學部國文學科卒。浦和高等學校教授、文化學院教授兼任。特に歌謡史の研究に秀れた。

著書に『校註松の葉』（昭和六年一月）、「校註岩波書店」「岩波文庫」）、

『校註松の落葉』（昭和六年十一月）、「校註岩波書店」「岩波文庫」）、『校註

閑吟集—附狂言小歌集』（昭和七年二月）、「校註岩波書店」「岩波文庫」）、

『佐佐木信綱先生』（昭和十二年六月十五日日本文化振興會）、『歌

謡文學』（昭和十二年六月）、「校註河出書房」「日本文學大系」）、『和

歌史論』（昭和十二年七月十五日アルス）、『日本文學の精神と研究

史』（昭和十二年九月）、「校註海書房）、『萬歳歌考』（編、昭和

十四年七月五日生書院）、「校註稀觀歌謡研究資料」）、『春遊録』（編、

昭和十四年七月五日生書院）、「校註稀觀歌謡研究資料」）、『日本小説史

論』（昭和十四年十一月）、「校註至文堂）、『國文學の世界』（昭和十四

年十一月二日人文書院）、『民族文學の歴史』（昭和十五年四月）、「校註

九日愛國新聞社出版部）、『日本民謡論』（昭和十五年六月十日萬里

閣）、『日本文學の傳統』（昭和十五年十月）、「校註至文園社）、『傳

統の研究』（他十一名合著、昭和十五年十一月一日野上文閣）、「皇國文學」

第一輯）、『日本歌謡の研究』（昭和十五年十一月十二日厚生閣）、

齋藤月岑著『聲曲類纂』（校訂、昭和十六年四月十五日岩波書店）、「岩

波文庫」）、『新國學論』（昭和十六年十月）、「校註大同印刷書館」）、

『王朝文學の歴史と精神』（昭和十六年十月）、「校註五浪書院」）、『古

典の歴史』（昭和十六年十一月十四日ミダニ日本社）、『續民族文學

の歴史』(昭和十七年一月)二十日愛國新聞社出版部)、『平田篤胤の
 國學』(昭和十七年二月)二十日道統社)、『古典と日本精神』(昭和
 十七年九月五日モダン日本社)、『古典の精神と學究』(昭和十七年
 十一月十日旺文社「古典教養の書」)、『平田篤胤翁百年祭記念論文集』(他
 五名合著・秋田縣社彌高神社奉讀會編、昭和十八年十一月
 (二十日富山房)、『標準日本文學史』(日本詩版)、『他五名合著・日本
 文學報國會編、昭和十九年十一月)二十日大東亞出版株式會社)、『日
 本歌謡史』(昭和二十一年七月十日)二十日出版社)等。

